

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	A-355	
評価技術名称					連絡先	https://www.aichi-gensai.jp			
部分開口 構造用合板補強工法					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会				
真壁「長押」アルミ材下地					実験実施機関 :名古屋工業大学				
技術概要									
床、天井間のみをアルミアンクルと構造用合板で補強する工法。									
技術の特徴							コスト		
<ul style="list-style-type: none"> 土壁・天井・床・長押・付鴨居を解体することなく真壁や入隅に施工が可能 真壁の仕上がりで補強が可能 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能 							サンプル構面	26,726 円/kN	
							設計見積り例	—	
適用範囲					写真・図				
構法	木造在来軸組工法								
規模	3階建て以下								
基礎、地盤	特になし								
適用部位	内外壁								
耐震性能									
評価仕様:アルミアンクル下地 真壁仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
2.6kN/m		365kN/rad/m							
A-111からの低減係数 $\alpha = 0.5$									
壁基準耐力 $5.2 \times 0.5 = 2.6$									
設計方法									
① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること									
② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
主要構成部材の仕様									
構造用合板	真壁、厚9mm、縦使い、各高さ400mm以上、タッピングビスφ3×L30、木ビス(コーススレッド)φ3.8×L32、セルフドリルネジφ4×L30のいずれか、@100mm以下、川の字打ち、端あき15mm以上20mm以下								
アルミ	アルミ不等辺アンクル 9×40 t=1.5 またはこれ以上のサイズのもの								
アンクル	JIS H4100 の A6063-T5 材(アルミ建築構造設計基準で AS110 材)またはこれと同等の強度を有するもの								
(縦)	木ビス(コーススレッド)φ3.8×L32、先孔φ3、アンクル角部を斜め打ち、@100mm以下								
間柱	なし								
継手受材	なし								
上下受材	なし								
四方受材	なし								
下地材	なし								
かさ上げ材	なし								
アルミアンクル納まり図					概念図				
○良い例									
×悪い例									
木ビスはアルミアンクル短辺の中央付近に打たず、なるべくコーナー付近に打つ									